

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 11 月 5 日  
東京電力株式会社

## <1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (11/5 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	30.4	107.2 kPa abs	A系： 1.00	vol %
		給水系：約 3.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 1.01	vol %
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 4.6 m <sup>3</sup> /h	43.0	5.48 kPa g	A系： 0.05	vol %
		給水系：約 1.8 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.05	vol %
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 4.6 m <sup>3</sup> /h	43.0	0.23 kPa g	A系： 0.21	vol %
		給水系：約 1.7 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.19	vol %

\*絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

- 【1号機】・11/3 14:00 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 2.7m<sup>3</sup>/hから約 3.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 1.8m<sup>3</sup>/hから約 2.0m<sup>3</sup>/hに調整。
- ・11/4 3:25 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 2.8m<sup>3</sup>/hから約 3.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 1.8m<sup>3</sup>/hから約 2.0m<sup>3</sup>/hに調整。
- ・11/4 16:33 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 2.7m<sup>3</sup>/hから約 3.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 1.8m<sup>3</sup>/hから約 2.0m<sup>3</sup>/hに調整。
- 【2号機】・11/3 10:41 原子炉への注水量の変動が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.6m<sup>3</sup>/hから約 2.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.6m<sup>3</sup>/hから約 4.5m<sup>3</sup>/hに調整。
- ・11/4 3:25 原子炉への注水量の変動が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.5m<sup>3</sup>/hから約 2.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.6m<sup>3</sup>/hから約 4.5m<sup>3</sup>/hに調整。
- ・11/4 16:33 原子炉への注水量の変動が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.7m<sup>3</sup>/hから約 2.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.6m<sup>3</sup>/hから約 4.5m<sup>3</sup>/hに調整。
- 【3号機】・11/3 10:41 原子炉への注水量の変動が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.8m<sup>3</sup>/hから約 2.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量は約 4.5 m<sup>3</sup>/h で継続。
- ・11/4 3:25 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.6m<sup>3</sup>/hから約 2.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.4m<sup>3</sup>/hから約 4.5m<sup>3</sup>/hに調整。
- ・11/4 16:33 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.7m<sup>3</sup>/hから約 2.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.2m<sup>3</sup>/hから約 4.5m<sup>3</sup>/hに調整。

## <2. 使用済燃料プールの状況> (11/5 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	20.0
2号機	循環冷却システム	運転中	22.8
3号機	循環冷却システム	運転中	16.5
4号機	循環冷却システム	運転中	24

\*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

- 【2号機】・10/30 15:30 所内電源停止に伴い、使用済燃料プール代替冷却系を停止(停止時プール水温度:約 21.4℃)。
- ・11/2 17:21 電源が復旧したことから冷却を再開(再開時プール水温度:約 30.6℃)。
- 【4号機】・11/5 14:09 使用済燃料プール代替冷却システムにおいて、冬季における凍結防止対策として、2次系循環水に不凍液を添加するため、同システムを停止(停止時プール水温度:約 24.0℃)。なお、停止期間は11月6日までを予定しており、プール水温度の上昇率は約 0.418℃/hと評価していることから、プール水温度の管理に問題はない。

### <3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元 → 移送先	移送状況
1号機	1号機タービン建屋 → 2号機タービン建屋	11/3 9:55 ~ 11/4 13:58 移送実施
2号機	2号機タービン建屋 → 3号機タービン建屋	11/3 10:14 ~ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋 → 集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋) ]	11/2 14:17 ~ 移送実施中

### <4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (11/5 7:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転

\* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

### <5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
  - ・H24/10/23～ 1号機サブプレッションチェンバ内への窒素ガス連続封入を開始。サブプレッションチェンバ内の水素濃度を推定2%程度まで低くするために、連続封入期間は1ヶ月程度を予定。
- ・H24/10/23～ 1号機サブプレッションチェンバ内への窒素ガス連続封入を開始。サブプレッションチェンバ内の水素濃度を推定2%程度まで低くするために、連続封入期間は1ヶ月程度を予定。
- ・H24/11/5 3号機原子炉格納容器ガス管理システムのチャコールフィルタ・粒子状フィルタのサンプリングを実施。
- ・H24/11/5 3号機原子炉建屋上部において、ダストサンプリングを実施。

以 上